

かわらばん

vol.
151

2023.11



発行元：広報委員会
発行責任者：広報委員長
鳥取赤十字病院
マスコットキャラクター
オリピー



形成外科 福岡 晃平

形成外科について

形成外科は、目に見える身体表面の形態や機能の異常を修復することで、その人のQOL(quality of life:生活の質)を向上させることを目的としている診療科です。対象疾患は体表先天異常(頭蓋・顔面、体幹、手・足など)、外傷(切創、擦過創、熱傷、顔面骨骨折、切断肢・指など)、皮膚・軟部組織腫瘍(悪性腫瘍、良性腫瘍、母斑、血管腫など)、腫瘍切断後の再建(顔面・頭頸部、乳房、四肢など)、瘢痕・ケロイド、褥瘡・難治性腫瘍(手術後の創感染・創治癒遷延、足の潰瘍など)、眼瞼下垂症、顔面神経麻痺、リンパ浮腫などがあります。これらの疾患に対して、主に外科手術を用いて治療を行います。手術以外の治療として、色素性病変や血管性病変に対するレーザー治療、外用薬や被覆材を駆使した創部管理などを行います。



外傷



眼瞼下垂症



顔面神経麻痺

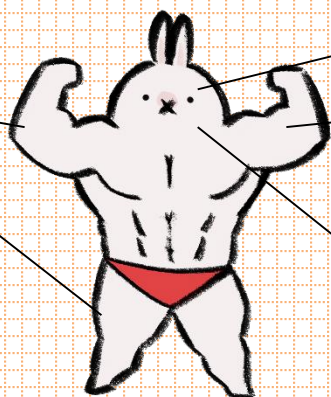
整形外科との違いは？

整形外科的治療が機能予後に重きを置くのに対し形成外科的治療は多くの場合、整容的予後を重視します。形成外科では外表面、つまり全身の皮膚や軟部組織の疾患を扱うことが多いですが、整形外科は体幹、四肢の骨に関する疾患を扱うことが多いです。顔面骨に関してはより整容的予後が重視されることもあり多くの場合は形成外科が扱います。皮膚・軟部組織の疾患を整形外科で扱うこともありますので境界領域にあたるようなケースも存在します。

皮膚科とのすみ分けは？

皮膚腫瘍、皮膚潰瘍などは形成外科でも皮膚科(特に皮膚外科と呼ばれる領域)でも扱いますので皮膚科と形成外科の境界領域とも言えますが、一般に組織欠損の再建に皮弁などが必要な場合や顔面などの整容性が非常に重視される場合などは形成外科が担当することになります。

骨や関節
→整形外科



顔面骨や皮膚の外科的治療
(形を整えたり、再建する)
→形成外科



どちらの診療科でも
治療できるものがあります

皮膚の内科的治療
→皮膚科



診察日までに午後検査が受けられます！

待ち時間が短くなります。料金は変わりません。

検査内容によりますので、ご希望の方は、

担当医または看護師にご相談ください。



※診察日の数日前の午後(13~16時)
に検査(採血、CT、エコー)を行うことが可能です。
検査のみで来院された場合、再診料などは発生しません。

かかりつけ医をお持ちですか？

症状が安定された方は、かかりつけの医師やご自宅近くの診療所に紹介させていただきます。



鳥取赤十字病院

紹介(症状が安定)

紹介(専門的な検査や治療)

かかりつけ医



定期的な検査や病状変化の際は、かかりつけの医師と連携のうえ、責任をもって診療いたします
のでご安心ください。

登録医の紹介

かすやファミリー歯科(北中校区)

〈所在地〉鳥取市若桜町50-1
【バスでお越しの方】本町一丁目から徒歩1分
【電車でお越しの方】鳥取駅より徒歩15分
※敷地内に10台分の駐車場がございます
〈TEL〉0857-27-5245
〈院長〉加須屋 浩 先生
〈診察科目〉歯科



〈休診日〉木曜、日曜、祝日
△土曜は17時までです。

当院は、生後数ヶ月の赤ちゃんからご高齢の方まで家族で通いやすい医院を目指しており、院内はキッズルームを設けたりバリアフリー設計にしています。治療は予防歯科を中心とし、虫歯治療・歯周病治療・インプラント・矯正など幅広い治療に対応しており、患者様それぞれのニーズに対応させていただきます。気になる症状やお悩みがある方はもちろん、症状はないけれどこれから予防に取り組みたいという方も、どうぞお気軽にご相談ください。

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○		○	○
14:00~18:00	○	○	○		○	△